

平成29年度北海道教育研究所連盟 第7回共同研究推進委員会

平成30年1月12日（金）に北海道立教育研究所において、第7回共同研究推進委員会を開催しました。

今年度最後となる今回の委員会では、北海道教育大学学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門長 川前 あゆみ 准教授による講義と、第16次共同研究1年次の成果と課題及び2年次に向けた取組についての説明・協議を行いました。

講義「小規模校における教育活動の充実に向けて」

「北海道の小規模校の現状と課題」「各教育研究所・研修センターの小規模校への支援の在り方」「小規模校における主体的・対話的で深い学びの在り方」の3点について、講義をしていただきました。

その中で、へき地・小規模校の利点である、教員同士の連携のしやすさ、地域との連携、個に応じた指導などを生かし、主体的・対話的で深い学び等の新学習指導要領に対応した教育活動を充実させることが重要であるなど、へき地・小規模校の教育実践について、今後の在り方を御教示いただきました。



北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター
へき地教育研究支援部門長 川前 あゆみ 准教授

説明・協議「第16次共同研究1年次の成果と課題及び2年次に向けた取組について」

【協議内容】○：1年次の成果、□：1年次の課題及び2年次に向けた取組

研究内容1 研修コンテンツによる支援	研究内容2 ICTの活用による支援 ～ビデオ通話ソフトウェアによる遠隔研修～
○ 共同研究推進委員が学校の実情等を踏まえ、研修内容について勉強しながら研修コンテンツを作成したため、力量の向上を図ることができた。 □ 共同研究推進委員が板書等の画像を収集したり、事務局の共同研究推進委員がオンデマンド映像を作成したりする。 □ メンター研修等の実践例が少ないため、次年度も引き続き実践例を収集する。	○ ビデオ通話ソフトウェアの模擬体験研修を通して、各教育研究所・研修センターで取り組んでいる講義を学校等へ配信する等の活用方法に見通しをもつことができた。 □ 共同研究推進委員がビデオ通話ソフトウェアを実際に使用した経験がないため、共同研究推進委員会等で実際に機材を設置し、使用することを通して、活用や普及の方法について検討する。
その他（研究発表大会、所員の力量向上）	
○ 研究発表大会での発表や交流について、他の研究所・センターの取組の情報を得ることができた。 □ 研究発表大会における協議について、地域や実情が異なるなど、協議が深まりにくいいため、自分の研究所・センターで生かすことができる取組は何か、実践するにあたっての課題は何かという視点で交流する。 □ ワークショップ型研修における所員のファシリテーションに関する力量の向上について、取組を行っている研究所・センターの好事例を収集し、普及する。	